新年あけましておめでとうございます。輝かしい平成八年の新春を、おすこやかにお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は、市政全般にわたりまして、市民の皆様のあたたかいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

さて、新津市が誕生してから四十五年目を迎えました。この間、先人たちが築きあげた伝統と歴史、そして文化を受け継ぎ、市民の皆様の英知と勇気を結集した〝ともに歩む市政〟の推進によって〝花とみどりと石油の里〟と呼ぶにふさわしいまちへと発展を遂げてきました。

過去から現在へと流れ続けてきた時代の潮流はとどまることなく、未来へと向かうその流れは一段と速度を増し、変化の度合いもさらに大きくなるものと予想されます。

高齢化、少子化、国際化、高度情報化など、来たるべき二十一世紀はまさに大変革の時代といえます。こうした流れと真正面に向き合い、未来へとつながるエネルギーを求めて、今、何をなすべきかを一人ひとりが真剣に考えるときであると思います。

振り返れば未来

地方財政は、税収の落ち込みなど非常に厳しい予測が出されておりますが、昨年は、新津市政長年の懸案でありましたクリーンセンターの完成、あるいは木もれ陽の遊歩道の開通などをみることができました。

迎える平成八年も様々な事業を予定していますが、ときの移ろいに眼を向けながら、多面的な検討を加える柔らかさをもって、一つひとつを精一杯に取り組んでまいります。

皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げ、年頭のごあいさつとします。

新津市長　小林一三

平成8年　元旦　新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、市民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

二十一世紀を間近に控え、多様化、個性化する市民の価値観に応えて、市民が真に豊かさを実感する地域社会の実現が求められている今日、明治以来の中央集権的行政システムの大転換を図る地方分権の推進は、国の重要課題となっております。このような時に当たり、本市においても克服すべき多くの課題を抱えており、行政需要はその量、質ともますます複雑多様化し、まことに厳しいものがあります。

私ども議会といたしましては、より豊かな住みよい街づくりを目指して、今後さらに創意工夫を重ね、皆様がたのご期待に応えるよう決意を新たにしております。

さて、新津市では昨年第三次総合開発計画が策定され「緑の風薫り　笑顔の行きかう　ふれあい文化都市」を目指した街づくりが進められております。

複雑多様化する期待に応えて

昨年の暮れには、長年の懸案でありましたごみ焼却場（新津市クリーンセンター）が竣工し稼働いたしております。

また、美術館建設も平成九年秋の開館を目指して工事が進められております。この一帯は金津丘陵ふれあい文化ゾーンとして県営の埋蔵文化財センター及び都市緑花植物園の工事も進められており市民が気軽に利用できる文化施設となります。

その他計画された各種事業が着々と進捗しておりますことは、市長の手腕によることは勿論のこと市民のご協力の賜と深く感謝しております。

また、本市の当面する行政課題は各分野にわたり山積しており、市議会として果たすべき役割を的確にとらえて、その実現に全力を傾注していく所存でありますので、何卒旧年に倍してのご支援をお願い申しあげまして、新年のご挨拶といたします。

新津市議会議長　風間淳一

お買物、ご用命は市内で

今年もよろしくお願いいたします

住まいの不便・不安・不満を解消　ちょっと手を入れてより快適生活を!!

トイレ　浴室　キッチン

内装模様替え　機器交換　サービス

応援します　見積無料

増改築のお店　TOTO　台所　浴室　トイレ　洗面所

快適住宅リフォーム工事専門店

増改築のさとう

新津市古田580-1　☎24-4333

今年は子年（ねどし）

今年は子年。昔は夜になると、ネズミが天井裏を走り回り、チュウチュウと鳴く声が聞こえたりしたものです。最近は純粋な日本家屋が減ってきているためか、家屋の構造が変わってきたためか、都会では天井裏を走り回ったり鳴いたりしているネズミは、少なくなってきたのではないでしょうか。

ネズミは、数も種類も多く、ほ乳類の約半数、千七百種を占めるといわれています。しかも、ほぼ全世界に分布しています。ネズミ算という言葉もあるように、繁殖力がおう盛で、一回に二十匹の子を産む種類もあります。

人間は、昔からネズミの害に悩まされています。ノネズミは農作物を荒らし、牧草地の草の根を食べたりします。イエネズミは貯蔵食糧を食べ、時には電線やガス管をかじって人間を困らせたりします。また、下水道などの不衛生な場所を通り道にするため、伝染病であるペストをもたらすこともあります。古代アテネやローマ帝国が滅亡したのは、ネズミがもたらしたペストのためだという説もあります。一方、ネズミの仲間でも、ハムスターなどの種類は、実験動物として医学の進歩には欠かせません。

身近な動物だけに、ことわざにもしばしば登場します。弱者でも追い詰められると強者に逆襲するという意味の「窮鼠猫を嚙む」や、前ぶれの騒ぎばかり大きくて、実際の結果は極めて小さいことの例えである「泰山鳴動して鼠一匹」などは、よく知られています。「頭の黒い鼠」とは、頭髪の黒い人間をネズミになぞらえて、物を盗む人のことです。「鼠の嫁入り」は、あれこれと選んでみても、結局は代わりばえのしないところに落ち着くという例えです。

さて、子年は十二支のトップ。昨年は、天災や事件の多い暗い年でしたが、今年は気分一新して、いい年になりますように。

ちょっと気になる お屠蘇（とそ）の由来

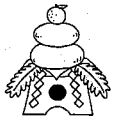
元日の朝に飲む「お屠蘇」は邪気を払い、長生きできるといわれる薬酒で、「屠蘇散」「屠蘇延命散」とも呼ばれるものを入れた酒で、子どもが飲めるようにみりんが使われることもあります。

幼い子から年長者まで順に飲めば、一年中そろって病気をしないとされてきました。中村汀女の句「次の子も屠蘇を綺麗に干すことよ」は、今も多くの家庭で見られる情景でしょう。

中国から来た屠蘇の風習は、平安時代の宮中で新年の儀式に採用され、江戸時代には医者が歳暮代わりに屠蘇散を患者の家に贈ったところから、民間に普及しました。山椒、肉桂、防風、大黄などを調合し、三角形に縫った紅絹の袋に入れた「屠蘇袋」が用いられています。

屠蘇の語源については、蘇という名の悪鬼を屠る意とする説、西域地方の薬草茶蘇から来たとする説などがありますが、定かではありません。

そうした由来や薬効はともかくとして、元日に、ほどよく酔って「屠蘇機嫌」にならないと、正月の気分がしないという人も少なくはないようです。



お買物、ご用命は市内で

健康家族　薬なら新津薬局

保険調剤（各科病・医院の処方せん受付）
ツムラ漢方薬・ツムラ化粧品・健康食品

新津駅前本店（24）6311
おぎかわ駅前店（24）6322

EMで生ゴミを処理し
自然農法による野菜を食べてみませんか

EMバックインスペシャル（生ゴミ処理器）
ボカシ各種、EM菌1号

取扱店：天壽薬草協会 EM班
㈲酒井商店内　朝日121　TEL 22-7675